

給食・食育について



給食

- 栄養士管理のもと園独自の栄養給与目標、食品構成表を出しており、完全給食になります。
- 缶詰めや、どりものに頼らず手作りを心がけています。
- 0才児のお子さんへは、ミルク・離乳食を月齢や個人差、体調をみて進めていきます。
- アレルギー児にはアレルギー対応食を提供。家庭と担任と栄養士で連携し配慮しています。
- 3歳以上児から主食のお米のみ月に一度持参していただき、副食費をいただいている。

食育

- 毎月栄養士による食育指導を行っています。
- 当園は食育に力を入れており、手洗いの仕方から調理実習まで様々な食育行事を通して、「食」に対する興味を持ち、命を「いただく」ということを学びます。
- 5歳児クラスでは実際に包丁を使い、調理を行います。



手洗い実習



野菜の苗植え



サンドイッチ作り



砂糖の話

保育のICT化と業務効率化について

書類関係

年間から日案の指導計画、児童票、保育日誌など、完全パソコン業務化し、3・4・5歳児クラスにノートパソコンを各1台、0・1・2歳児クラスには各クラス2台ずつ完備していて、簡単な文字入力ができればOK。
手書きよりも訂正やコピーが簡単。
最新のパソコンを導入しているのでストレスフリーで作業することができます。

出欠席連絡

キッズビューという専用アプリを導入、保護者の方は携帯からアプリで欠席や遅刻等を入力、園ではタブレットにて子どもたち出欠が確認ができます。
これにより、朝の忙しい時間に電話対応に追われる心配もありません。

集金業務

「エンペイ」というキャッシュレス決済システムを導入。
集金は主にキャッシュレスなので、保育者は各家庭から現金を預かることなく、計算ミスや紛失トラブルも防げます。

勤怠管理

職員の出退勤はICカードを専用の機械にかざすだけ。正確な時間や勤務形態が細かく記録されています。給与計算のソフトウェアとも連携しているため、公正かつ平等です。

クラスの壁面制作やクラスだよりについて

基本的に壁面制作はやらなくてOK。毎月の決まった壁面も無く、その分のびのびと子どもたちのやりたいこと、保育者のやりたいことに時間を割いてほしいと考えます。
もちろん、禁止では無いのでやりたい先生は作ってもOK！
クラスだよりもありません。担任の先生は、月に一度、小さい用紙にコメントを書くだけ。えんだよりとして園長が発行しています。